

参加費

一般 1,000円

25歳以下 500円

穂の国とよはし芸術劇場PLATが贈る

「旅する舞台映像シリーズ ～つくり手と観客を結ぶ上映会&トーク～」は、  
つくり手とのトークや観客同士の対話と、演劇作品の映像上映を組み合わせ、  
舞台芸術をより深く味わい、自分自身の中に新たな気づきを育む  
“もうひとつの舞台体験”をお届けするシリーズです。

vol. 1 **かるがも団地**

『意味なしサチコ、三度目の朝』

(日本語字幕付き)

トークゲスト **藤田恭輔** (脚本家・演出家)

**8/16** 日 14:00 ~ 17:00  
創造活動室 A



撮影：月館森

しげる きかく  
vol. 2 **滋企画**

『ミッキーアイランド』

トークゲスト **佐藤滋** (俳優)

**9/27** 日 14:00 ~ 17:00  
創造活動室 B



ぜいたくびんぼう  
vol. 3 **贅沢貧乏**

『わかれうとはおもっているけど』

トークゲスト **山田由梨** (作家・演出家・俳優)

**11/23** 月祝 14:00 ~ 16:30  
創造活動室 A



Photo : Kengo Kawatsura



穂の国とよはし芸術劇場  
TOYOHASHI ARTS THEATRE

PLAT

<https://www.toyohashi-at.jp>

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町 123 番地

TEL 0532-39-8810 (9:00~20:00 休館日除く) FAX 0532-55-8192

主催：公益財団法人豊橋文化振興財団、豊橋市

助成：令和8年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



# 旅する舞台映像シリーズ

つくり手と観客を結ぶ上映会&トーク

# 旅する舞台映像シリーズ

演劇を“観る”ことから“語り合う”ことへ。新たな出会いが、きっと生まれる。

## 8/16 日 vol.1 かるがも団地

2018年、藤田恭輔、古戸森陽乃、宮野風紗音の3人により結成。「団地のようなあたたかさ、多様性」を合言葉に、演劇を中心としながら、街歩きから演劇をつくるワークショップなど様々な活動を展開している。それぞれ異なる人生を送りながらも同じ場所に帰ってくる人々のように、多様な人々や価値観が共存する風景を、ユーモアとまなざしをもって描き出す。



【トークゲスト】藤田恭輔（脚本家・演出家・かるがも団地主宰）

1996年生まれ、秋田県出身。2018年に首都大学東京（現：東京都立大学）卒業後、同大学演劇サークル「劇団時計」の同期と共に、かるがも団地を旗揚げ。2019年・2021年佐藤佐吉賞優秀演出賞、2022年佐藤佐吉賞優秀脚本賞受賞。2024年『三ノ輪の三姉妹』は三鷹市芸術文化センターのMITAKA “Next” Selection 25th に選出。実在の街を舞台に、映像作品のようなスピード感をもたせながら、現代に生きる人々の日常や、人間関係の軋みを、時にコミカルに、時にシリアスに浮かび上がらせる人間ドラマ / コメディ作品が特徴。



【申込開始】  
7/5（日）10:00

## 9/27 日 vol.2 滋企画

2017年、俳優・佐藤滋を中心に始動。公演ごとに異なる演出家や俳優、スタッフと新たな座組をつくりながら活動を展開している。「大好きな仲間と、やりたいことを、やりたいようにやる。しあわせな冒険」をモットーに、『K2』『OTHELLO』『ガラスの動物園』『ミッキーアイランド』などを上演。『ガラスの動物園』は第33回読売演劇大賞において複数部門でノミネート。



【トークゲスト】佐藤滋（俳優）

1974年、新潟生まれ。青年団所属。劇団 KAKUTA に11年在籍。退団後、こまばアゴラ演劇学校無隣館第一期を経て、現在は青年団に所属。2023年より、自身が主演・プロデュースする団体、「滋企画」を旗揚げ。第3回公演『ガラスの動物園』は、第33回読売演劇大賞で三部門（優秀作品賞・優秀演出家賞・優秀スタッフ賞）を受賞。2027年3月に第5回公演『ガラスの動物園』（再演）を、すみだパークシアター倉にて上演予定。



【申込開始】  
8/2（日）10:00

## 11/23 月祝 vol.3 贅沢貧乏

2012年旗揚げ、東京を拠点とする劇団。日常のなかに潜む違和感や人間関係の機微を、ユーモアと鋭い観察眼で描き出す作品を創作している。フェミニズムやメンタルヘルスなど身近なテーマを扱いながら、現代社会に生きる人々の姿を多面的に見つめる作風で注目を集め、『わかつうとはおもっているけど』はパリのフェスティバル・ドートンヌ正式プログラムとして上演された。



【トークゲスト】山田由梨（作家・演出家・俳優）

1992年東京生まれ。立教大学在学中に「贅沢貧乏」を旗揚げ、全作品の作・演出を務める。舞台と客席、現実と異世界、正常と狂気の境界線をシームレスに行き来しながら、現代の日本社会が抱える問題を奔放な想像力と多彩な手法でポップに浮かび上がらせる作風を特徴とする。『フィクション・シティー』（17年）、『ミクスチュア』（19年）で岸田國士戯曲賞にノミネート。ドラマ脚本・監督、小説・コラム執筆も手がけ、Abema「17.3 about a sex」「30までにとるさくて」脚本、NHK「作りたい女と食べたい女」脚本を担当。WOWOW「にんげんこわい」シリーズでは脚本・監督として参加。



【申込開始】  
9/20（日）10:00

対象 どなたでも（未就学児入場不可）

参加費 一般 1,000 円 25 歳以下 500 円

定員 8/16（日）40 名、9/27（日）20 名、11/23（月祝）40 名 ※各回先着順

締切 定員に達し次第締切 ※定員に満たない場合は当日参加も可

申込方法 ☐ WEB申込フォーム 上記 QR コードのページより、必要事項を記入して送信

☐ 電話・窓口 プラットチケットセンター ☎0532-39-3090（休館日を除く 10:00～19:00）

問合せ プラットチケットセンター 0532-39-3090（休館日を除く 10:00～19:00）／jigy@bunzai.or.jp